特定非営利活動法人 元気な120才を創る会
延ばそう・健康寿命

月刊 高齢者見守りサービス最前線レポート
みまもりプレス

20.JUL.2023
8月17日号
通巻074号

■発行所／(株)びゅ～すまいる編集舗・みまもりプレス編集部
■2023年8月17日発行号 ■TEL.03-6807-8287 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

メディロム　https://medirom.co.jp

24時間遠隔体調見守りシステム『REMONY』をリリース

充電不要のスマートトラッカー『MOTHER Bracelet』による体調見守り集中管理システム完成

ヘルステック事業を展開するメディロム（東京都港区）の子会社MEDIROM MOTHER Labs（メディロム マザーラボ／東京都港区）では充電不要のスマートトラッカー『MOTHER Bracelet』を用いた遠隔見守り集中管理システム『REMONY（リモニー）』をリリースする。

『MOTHER Bracelet』で取得されたヘルスケアデータを活用して在宅高齢者の見守りや、医療現場での患者様の体調管理、ドライバーや建設現場等での従業員の健康管理をこのシステムを通じて可視化、集中管理することで体調急変などの緊急事態の早期発見と、各事業所にかかる従業員の健康管理のための負担軽減を実現するというもの。

遠隔見守りサービス『REMONY』は同社が開発した充電不要のスマートトラッカー『MOTHER Bracelet』を腕に装着することで、専用ゲートウェイにて自動で取得されたデータをリアルタイムで一元管理できるシステム。

従来のウェアラブルデバイスによる見守りは充電切れによるデータの欠損が課題に挙げられるなか、『MOTHER』では24時間充電することなくリアルタイムで利用者のバイタルデータを計測できるという点が注目ポイント。緊急事態の早期発見や体調不良による事故の防止に高い精度でつなげることができるとする。

「高齢者の見守りや夜間や長時間勤務の従業員の健康管理など様々な業界に合わせてカスタマイズを行い、展開してまいります――(同社談)」

『MOTHER Bracelet』は、24時間365日充電不要の活動量計。米国シリコンバレー発の最先端技術を搭載することで体温と外気の温度差で電力を生み出すのだという。充電不要のため、充電時のダウンタイム（データが取得できない時間）がないというメリットが大きい。歩数・睡眠量・消費カロリー・心拍数・体表温＝ヘルスケアの基本となる5つのデータがこれ1つで記録可能。

シニアが元気になると
日本が元気になる！
元気シニア倶楽部
会員募集中!!
――入会費・年会費なし――
一般社団法人
日本元気シニア総研
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com

次世代型ショールーム『蔦屋家電＋』で展示スタート

見守り親子 IoT ブランド『Hello! Family.』シリーズ ――コクヨ――

コクヨ（大阪市）では、次世代の家族コミュニケーションをサポートする見守り親子IoTブランド『Hello! Family.』について、次世代型ショールーム『蔦屋家電＋』での展示を開始した。同ルームで9月から販売される予定の『はろもに』『はろぽち』の2製品の予約販売は8月8日より受け付けている。

『はろもに』は、スマホとメッセージ交換できるモニター。『はろぽち』は、ポチッとスマホにメッセージが送れるボタン。

ショールームでは、実際に手に触れて、体験することができる。また現在販売中の『はろここ』『はろたぐ』は、特別価格で「蔦屋家電＋」店頭にて、購入することもできる。

https://hellofamily.kokuyo.co.jp

「みまもり対象」の最新の居場所を表示

ソニーのスマートホームサービス『MANOMA』機能追加

――ソニーネットワークコミュニケーションズライフスタイル――

ソニーネットワークコミュニケーションズライフスタイル（東京都品川区）では、スマートホームサービス『MANOMA（マノマ）』において、機能改善を実施。8月9日（水）より順次配信される『MANOMAアプリ』を更新（バージョン 1.22.7）すると、新機能が使えるようになる。

今回導入された新たな機能を挙げると、レシピ実行時の通知カードに、みまもり対象の最新の居場所が表示できるようになった『みまもりエリアを出たら通知』。そして「通知・音声読み上げ設定」で設定した「音声読み上げ」時に通知音が追加された点。

さらに、「自分が見たい日時の履歴を検索する場合は、タイムライン表示画面の上下スクロールでのみの検索となり、到達しづらい――」というユーザーの声をもとに、指定した日付にすぐに遷移できるようになった点など、大きく挙げて3つ。

https://www.sonyncl.co.jp

情熱の発明商品・発掘プロジェクト

生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！ 掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第73回

ハンドルを握るだけで楽に歩けるウォーキングサポートベルト

『Joggbar（ジョグバー）』

クラウドファンディングで購入可能（2023年9月20日まで）▶

ご家族を亡くされた西分和幸さん。思えば、亡くなる数年前から入退院を繰り返しているうちに段々と歩けなくなっていました。歩けなくなると自立できなくなり、すぐに介護が必要になってしまうのはよくある話ですが、その時、歩ける事の重要性と、ウォーキングを通じて日本人の健康寿命を延ばしたいという想いをもちました。

歩き方のサンプルに選んだのが、江戸時代の人の歩き方。重心が中心にあり、疲れやすい現代人の歩き方と違い、1日30キロ以上歩いて旅をしていた江戸時代の人々は、重心が前傾。これを再現できる歩行補助具があれば、故障が少なく、健康的でラクな歩き方が身に付けることができます。こうして発明されたのが、『Joggbar（ジョグバー）』です。

発明品は、腰に巻くベルトと、骨盤部分に位置するベース部から体の両脇に伸びるハンドルと、位置を自由に変えられるグリップ部から成る構造です。

取り付けはとっても簡単。ジョグバーのベースを骨盤にあて、ベルトのバックルをセットしたら、ハンドルを骨盤と直角になるようにセット。そのハンドルにグリップを固定すれば完了です。グリップを後ろにすればするほど上体は前傾する仕組みで、理想のフォームが得られます。グリップを握りながら歩くと、体が前に倒れる力（重力）を利用して前進するので、床を蹴らなくても前に進むことができ、カラダへの負担も軽減されます。

西分さんは、この理論を実証するため、なんと60歳にして、大阪～東京500キロの歩き旅に挑戦。試作品のジョグバーを使い、見事21日間で完歩する快挙を成し遂げました。誰もが一生歩けるカラダづくりを目指し起業した西分さんは、現在クラウドファンディングに挑戦中！ ウォーキングで世の中みんなに健康になってほしいという西分さんの想いは、ジョグバーという製品に乗って、もうすぐ世界中に旅立とうとしています。

（松野泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ・入門」（希望者は下記まで）

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町７番１号　発明学会ビル

☎ 03（5366）8811　y-matsuno@hatsumei.or.jp

発明学会公式サイト https://www.hatsumei.or.jp/

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!』

ブレーンモンジュ・林野 均の「シニア〝萬〟遊記」第71回

マイナンバーカードの迷走

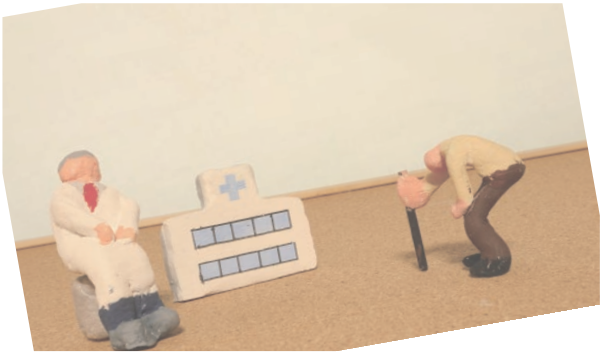
決して義務ではなかった筈のマイナンバーカード。２兆円の予算をつけてマイナポイントを付与してまで取得を推進したかと思ったら、政府は突然、紙の保険証を廃止してマイナンバーカードと一体化すると発表しました。その迷走ぶりと手際の悪さに、政権の支持率の低下にまで影響しています。

紐付けの誤りが多数発覚しましたが、手入力の際の誤りということです。デジタル化を進めるための作業が手入力という究極のアナログ作業で、しかもそこで間違うというまことにお粗末な状況です（マイナポイントを付与する際に他人に付与するという誤付与も100件以上あったようです）。

そもそも何故マイナカードが必要なのか、きちんとした説明がないので分かりません。政府のトップも担当大臣も分かっていないようですが……。世界的なデジタル化の波に乗り遅れないようにしたいのかもしれませんが、若い人はともかく、高齢者にとっては、デジタル化はそう簡単には馴染めないものだと思います。その強引な進め方には裏の理由があるのでは？ と勘ぐりたくなります。なにか利権絡みでしょうか。

紐付け作業も政府が管理するのではなく、各自治体や保険組合等におまかせで、情報漏えいがおそらくこれからたくさん発覚すると思います。高齢者施設で保険証を預かって管理しているケースも多々あり、マイナ保険証になったらとても管理できないという声が多数寄せられているにも拘わらず政府は何も対策を立てていないようです。

なにはともあれ、高齢者の切り捨てにはならないように、切に願うばかりです。



◎画像はイメージです。

Author／林野 均（はやしの ひとし）
プランニング・ブレーン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員
『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 https://planningbrain.com